

ありがとう

清音小学校だより



No17
令和8年3月24日
校長 藤本千登世

61名の卒業生が巣立っていきました



思いのこもった呼びかけ

3月18日の卒業式には、61名の卒業生が立派に卒業証書を受け取り、中学校へと巣立っていきました。「お別れのことば」での呼びかけや歌に、6年間の学びの成果を全力で表現する姿には感謝の気持ちが表れ、感動を与えました。中学校での益々の活躍を清音小から応援したいと思います。

また、在校生代表として参加した5年生の姿も大変立派で、卒業式を盛り上げました。5年生は、1年後の目標となる姿を見るができ、新リーダーとしての自覚がさらに高まったことでしょう。卒業式の翌日から、主体的に朝活を引き継いで頑張る5年生の姿があり、頼もしく感じました。春には新1年生を迎えます。高学年としての活躍を期待しています。



主体的に朝活を行う5年生

3月の品格教育の目標は「感謝」です



早いもので、1~5年生は明日が修了式となりました。終了式では、1年間、夢や目標に向かってレッツトライし、大きく成長した子ども達をしっかりと褒めてやりたいと思っています。こんなに成長できたのは、保護者の皆様のご協力があったることだと感謝しています。今年度も本校教育へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。

3月5日、6年生が取り組む卒業プロジェクトの一環で、清音っ子を守り育てる会の方へ「感謝の会」が催されました。会員の方は、入学式の翌日から雨の日も風の日も子ども達の登下校を見守ってくださっています。参加された方へ6年生児童が手作りのペンダントを掛ける時、「大きくなったなあ。中学校でも頑張って」と言ってくれる様子を見て、子どもと共に感謝の気持ちがあふれてきました。その後、地区ごとに分かれての交流では、けん玉・こま・かるた、福笑い等の昔遊びを一緒に行い、楽しいひとときを過ごしました。

地域の皆様にはこの一年、安全見守り、学習支援、環境整備等、様々な面で学校を支えていただき本当にありがとうございました。これからも地域の皆様のお力をお借りしながら、地域の中の学校として、子どもたちの健やかな成長に努めて参りたいと思います。今後ともよろしく願いたします。



笑みがこぼれる感謝の会

全校による「逃走中」で思い出づくり



校職員は素敵です。普段遊んだ時間は素敵な思い出として子ども達の心に残ることでしょう。

3月12日の業間休みに、6年生が卒業プロジェクトとして全校による「逃走中」を開催しました。いずみの森に6年生がばらまいた割り箸を見つけて牢屋に持って行くと、捕まった児童は復活できるというルールです。ハンターは、清音小全職員と6年生14人！本気でハンターになりきる本気で遊ぶことがない先生達とも本気で遊んだ時間は素敵な思い出として子ども達の心に残ることでしょう。

